

Die (友情) Freundschaft

事務局：
〒010-1632 秋田市新屋大川町 12-3
秋田公立美術大学 野村研究室内
<http://www.jdg-akita.org>
(018)888-8110
nomura@akibi.ac.jp

「バイエルの森国立公園」で WALDBADEN (森林浴)

副会長 渋谷 義博



ドイツはバイエルン州の東側、チェコのボヘミア地方と国境を接する一帯に広がる「バイエルの森国立公園」。ブナやドイツトウヒ、シルバーモミの原生林が占めるその広大な森林地帯には、澄んだ溪流や神秘的な大小の湖沼が点在し、水辺の植生や苔類、草花、樹木から放たれる DUFT (香り) が、微風とともに辺りを漂っている。

誘われて足を踏み入ると、待ち受けるのは野鳥の囀りが時折聴こえるだけの森閑とした世界・・・。

青空の下、遙か彼方まで連なる深い森の木々は、緑のグラデーションを織りなし、その枝葉の隙間を金色の光が静かに降りてくる。

木立の間を、裸足になって落ち葉や苔の絨毯を足裏に感じながら歩き、時に立ち止まって深呼吸すると、ドイツトウヒが源なのであろうか、微かに芳ばしい香りが鼻腔に充満し、脳からドーパミンが放出、実に幸せな気分になることができる。

同伴者とはできるだけ小声で話すことが求められ、少人数で森の中に歩み入ると、静寂に慣れ、感度が上昇した耳に聞こえてくる小川のせせらぎ、ヤマネコが踏み分ける雑木林の小枝が擦れる音、キーンという鹿の鳴き声、すばしこく走り回るリスの足音など、街中では聴くことの出来ない様々なデシベルや周波数帯域による音の響き、エトセトラ・・・。

Natürlichkeit(自然性)の魅力を満喫し、心身ともにリラックスした後は、簡素なピクニックランチの昼食にさえ歓びを覚え、再び、生き生きとした人生を紡いでいこうと考えるようになる。

就中、この素晴らしい体験は、幾星霜を過ごしても忘れることはないだろう。

“森林浴”は、人の有する五感に、良好かつ適度な刺激を与えてくれるものだと確信する。清涼感に満ちた樹木の香りや水辺から発生するマイナスイオン、そして、森が発する心地良い”音のアレンジメント“は、人々に大いなる安寧と癒しを与える。

そこに身を委ねて、哲学的思索に耽るもよし、翻って、無我の境地に浸るもよし。

昔日、姉妹都市交流事業の一環として手掛けた「秋田市一パッサウ市青少年スポーツ交流事業」の随行人員として同市を訪問、表題の「バイエルの森国立公園」で“森林浴”の機会を得たことは、今でも貴重な体験として脳裡に鮮明に焼き付いている。

ドイツの人々にとって、「森」は彼の国の文化や精神が立脚する要諦であり、大袈裟に言えば、悠久の歴史における“存在”そのものと深く繋がっているのではないだろうか。

来る 2024 年は、その「バイエルの森国立公園」の南端に位置するパッサウ市と秋田市との「姉妹都市提携 40 周年記念」を祝賀する年。

昨年秋頃からすでに、秋田市一パッサウ市両市間は無論、秋田日独協会一パッサウ独日協会間において、秋田市を会場に執り行われる「姉妹都市提携 40 周年記念事業」に関して様々な協議が実施されている。1984 年、非核平和都市宣言を決議した秋田市で、関係者の英知と情熱を結集しながら、後世に残る日独文化交流が展開されるであろうことは論を待たない。

協会員各位は勿論、多くの秋田市民とともに、満面



森の散策

の笑みでパッサウからの友人各位をお迎えし、旧交を温め、そして、新しい友情形成に尽力できるよう願ってやまない。

末尾にゲーテの格言を附記し、本稿を閉じたい。

Was immer du tun kannst, oder träumst es tun zu können, fang damit an !

Johann Wolfgang von Goethe
いますぐ出来ることや 夢想することがあれば 直ちに始めようではないか！

ヨハン ヴォルフガング フォン・ゲーテ



バイエルの森国立公園

《秋田日独協会創立 50 周年記念関連行事開催》

2022 年 6 月 8 日（水）18 時から秋田日独協会創立 50 周年記念式典が ANA クラウンプラザホテル秋田で開催されました。始めに Dr. C. フォン・ゲッツェ駐日ドイツ大使による記念講演会が開かれ、その後祝賀会が盛大に執り行われました。

＜記念講演会＞

テーマ「新たな世界的危機の時代における日独パートナーシップの重要性」

主な内容

①ロシアのウクライナ侵攻により世界は極めて不安定な情勢に陥った。ドイツも”ノルドストリーム”による天然ガスの安定供給が遮断され、国内のエネルギー政策に大きな影響を受けている。このような侵略戦争は即刻停止し、平和な日常生活を取り戻さなければ

ならない。

②ドイツの”福祉”に関しては、高齢社会における介護保険制度の充実はもとより、費用負担の透明性を高め、常に国民の理解と認知度向上を意図しながら、政策推進に努めている。

講演会には会員の他、一般市民にも多くご参加いただきました。

＜記念祝賀会＞

大使をはじめ 12 名のご来賓の方々にご臨席いただき、国際教養大学に留学中のドイツ人学生 2 名を含む、約 60 名の会員がご参加くださいました。開会に先立って高田剛志氏によるチェロ演奏が行われ、優雅な雰囲気の中で始まった祝賀会は和やかな空気に満ち溢れて大盛況となりました。



駐日ドイツ大使による記念講演会



高田剛志氏によるチェロの歓迎演奏



秋田空港でお出迎え



穂積秋田市長を表敬訪問



大使ご夫妻を囲み全員で記念撮影



50周年を祝って乾杯



50年受け継がれてきた会員の交流

《新理事紹介》

新たに理事に就任されたお二方からメッセージを頂きました。

河村希典理事

秋田大学の河村希典と申します。この度、創立 50 年の歴史ある秋田日独協会の理事に就任し、大変光栄に思っております。私は 2017 年 5 月～9 月までの 4 か月間、ドイツカールスルーエ工科大学に秋田大学の在外研究員として在籍いたしました。カールスルーエ滞在中に秋田日独協会 添野会長の親書を携え、パッサウ市を訪れ、パッサウ日独協会の方々と交流できたのが印象に残っております。

これから秋田日独協会の協力の下、秋田における教育・研究と暮らしに興味を抱いたドイツ人学生が秋田県内の教育機関を訪れ、本県の学生との国際交流を行うことで、将来の秋田県の繁栄につながる人材育成ができればと思っております。今後とも、宜しくお願いたします。



武内伸文理事

入会当初は、新年祝賀会・講演会に参加する程度でしたが、2019 年のドイツ訪問で活動へのスイッチが入りました。



長年積み重ねてこられた信頼関係がベースとなった素晴らしいおもてなしに感動しました。次は私たちがお迎えする番、どんなおもてなしをしようかと今から楽しみです。

パッサウでの交流会でパルーサ会長に、それぞれの得意分野での相互支援ができたらというお話をさせていただきました。美しい水の街パッサウは川の氾濫に悩まされてきた歴史があります。日本のセンサリング技術で災害を低減する貢献ができればと思います。また一方でドイツの自然に歩きたくなる街なみは魅力的で、是非私たちの街にもその魔法をかけるお手伝いをしてもらえればと思います。

実は私と秋田日独協会は同級生、人生 100 年時代ということで、更なる 50 年の交流を楽しみながら、当協会の活動に関わっていただけたいと思っています。今後とも宜しくお願いたします。

《2023 年の予定》

- 2 月下旬 会報 (Nr. 14) 発行
- 4 月 1 日 記念講演会および祝賀会
- 7 月中旬 定時総会および祝賀会
- 9 月上旬 パッサウの青年のワークキングホリデー受入れスタート
- 9 月 パッサウ市姉妹都市提携 40 周年記念事業「芸術交流プロジェクト 2024(仮称)」
- 9 月下旬 会報 (Nr. 15) 発行

ドイツ語で格言・諺: **An den Frieden denken heisst, an die Kinder denken.**

- Michail Gorbatschow -

戦争を考えることは、すなわち、子どものことを考えることだ。

- ミハイル・ゴルバチョフ -

《編集後記》

今回は秋田日独協会創立 50 周年記念の特集号として当日の様子をたっぷりお届けしました。来年 2024 年はパッサウとの姉妹都市提携 40 周年記念の年であり、パッサウからの訪問団を受け入れる予定です。またたくさんの市民交流が生まれることでしょう。今年はそれに向けて準備を進める飛躍の年となりそうです。

会員の皆さんからの寄稿やメッセージ、そして、ドイツに関する話題などを広く募集します。送り先は、表紙の事務局の住所へ、または、メールにてお送りください。

法人会員

(株) 秋田魁新報社様

(株) JTB 東北秋田支店様

(株) 東北 i ツアーズ様

(株) 日本旅行東北秋田支店様

秋田テレビ (株) 様